

2019（平成 31）年度前期
教学改善のための授業評価アンケート
報告書

大阪成蹊大学

調査概要

授業評価アンケート結果

調査票

調査概要

1) 調査目的

授業評価アンケートは、本学教学改革の一環として、授業改善を第一の目的として実施するものである。個々の授業に対して学生の率直な意見を聴取・理解し、学生にとって分かり易く、学習成果の得易い教育活動が行えるよう、授業の充実・改善、授業法の開発に資することを目的とする。受講者数が10名未満の授業を除き、ほぼすべての授業科目を対象としている。また、ピアノ科目にはピアノ科目用の授業アンケートを実施している。

2) 調査項目

<一般科目>

- ・回答者の基本属性(所属学部、学年、性別、学生区分)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(6問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(15問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(1問)

<ピアノ科目>

- ・回答者の基本属性(所属学部)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(10問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(1問)

3) 調査対象

本学の2019(R1)年度前期開講の全授業(※受講者が10名未満のクラスの場合、担当教員の任意で実施)、及びこれらの授業を履修している全学生

4) 調査方法

- ・各授業の終了前15分程度を使用し、出席者に対して無記名式の調査を行う。
- ・アンケート用紙の配付・回収は、教員が指名した学生2名が行う。学生指名後、教員は退室する。
- ・指名学生がアンケート用紙を配付。回答時間は、授業時間終了2分前までを目安とする。
- ・指名学生はアンケート用紙を回収後、回収用封筒に封入・封緘し、教務課に提出する。

5) 調査期間

2019(R1)年7月15日(月)～2019(R1)年8月2日(金)(※原則、14週目に実施)

調査実施率と回収率

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当 所属	マネジメント学部	134 科目	124 科目	92.5%
	芸術学部	93 科目	86 科目	92.5%
	教育学部	249 科目	222 科目	89.2%
	大学共通	202 科目	200 科目	99.0%
	教職課程(マネジ・芸術)	11 科目	10 科目	90.9%
	博物館課程	5 科目	5 科目	100.0%
	司書教諭	3 科目	3 科目	100.0%
2019(R1)前期 計		698 科目	651 科目	93.3%

有効回答率 76.2%

6) 調査結果の活用

アンケート結果はプロジェクトチームによって分析され、教学改革会議において報告された。また、授業ごとのアンケート結果は担当の教員に戻され、各教員はその結果を受けて授業改善計画書を作成し、次期授業の中で改善計画を実践していく。

本学では、教学改革会議のプロジェクトチームが中心となり、各学部・学科、FD委員会、教務係などと連携しながら、授業評価アンケートの結果を授業改善へとつなげていく。

授業評価アンケート結果

◆経年比較 ※29問中「1」または「5」の解答が28以上のケースは除いている。

	2018年後期		2019年前期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
I 授業への学生の取り組み				
1. この授業への出席状況	3.81	1.349	3.99	1.29
2. この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	4.04	1.079	4.03	1.05
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	2.68	1.436	2.51	1.32
4. 「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題+その他の自主的な学習」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	2.55	1.515	2.37	1.43
5. この授業の難易度（自分にとって）	3.39	0.842	3.39	0.84
6. 私はこの授業のシラバスを活用した。	2.63	1.299	2.43	1.24
II 授業内容と授業の進め方				
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	3.97	0.987	3.96	1.01
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	3.98	0.982	3.94	1.01
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.00	0.978	3.97	1.00
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	4.01	0.927	3.99	0.94
5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	4.01	0.960	4.00	0.97
6. 学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	4.02	0.940	4.04	0.94
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.06	0.913	4.08	0.90
8. テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	3.99	0.965	3.98	0.96
9-1.（講義・演習科目の場合）黒板やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。	3.98	0.968	4.01	0.95
9-2.（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。				
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.12	0.905	4.14	0.91
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	4.15	0.891	4.20	0.87
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	4.05	0.924	4.08	0.92
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	3.97	0.970	4.03	0.94
14. 教員はよい授業となるよう授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	3.99	0.946	4.02	0.93
15. この授業では適切な教育設備（ネット・空調・プロジェクターなど）が整っていた。			4.12	0.93
III 授業を通して得られたこと				
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	4.07	0.892	4.05	0.90
2. 学習力や思考力が高まった。	4.02	0.912	4.00	0.92
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	4.00	0.931	3.97	0.95
4. 考え方や社会的視野が広がった。	4.01	0.922	3.99	0.93
5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	3.87	1.008	3.83	1.01
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度など）を達成できた。	3.77	1.164	3.79	0.95
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	4.07	0.923	4.08	0.92
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.07	0.943	4.06	0.97

2018年度後期の値と比較して、各質問項目の平均値、標準偏差ともに大きな変化はなく、類似した傾向であることがうかがえる。全体満足度は高い水準を維持している。

◆条件による「授業運営」尺度、「学修達成」尺度の違い

アンケート項目のうち

Ⅱ-1からⅡ-14までの平均を「授業運営」尺度とする。

Ⅲ-1からⅢ-8までの平均を「学修達成」尺度とする。

学部（学年別）

所属学部		授業運営	学修達成	
マネジメント	1	平均値	3.8579	3.7526
		度数	2523	2544
		標準偏差	0.87011	0.90083
	2	平均値	3.8105	3.7859
		度数	1761	1767
		標準偏差	0.79830	0.82802
	3	平均値	3.9364	3.8961
		度数	925	938
		標準偏差	0.84369	0.85484
	4	平均値	3.9184	3.8517
		度数	336	338
		標準偏差	0.86195	0.88402
	5	平均値	4.3367	4.1094
		度数	7	8
		標準偏差	0.81516	1.05525
合計	平均値	3.8602	3.7936	
	度数	5552	5595	
	標準偏差	0.84399	0.87127	

芸術	1	平均值	4.1136	3.9572
		度数	1675	1692
		標準偏差	0.72306	0.71610
	2	平均值	4.2000	4.1289
		度数	1445	1457
		標準偏差	0.74805	0.79141
	3	平均值	4.0805	3.9950
		度数	990	995
		標準偏差	0.76437	0.80634
	4	平均值	4.0722	3.9656
		度数	479	483
		標準偏差	0.73516	0.78984
	5	平均值	4.4643	4.3906
		度数	16	16
		標準偏差	0.36234	0.49765
合計	平均值	4.1305	4.0215	
	度数	4605	4643	
	標準偏差	0.74199	0.77081	

教育	1	平均值	4.2621	4.1949
		度数	2032	2053
		標準偏差	0.72037	0.75001
	2	平均值	3.8862	3.8878
		度数	1928	1939
		標準偏差	0.87299	0.87607
	3	平均值	4.2455	4.2654
		度数	994	1000
		標準偏差	0.65074	0.68188
	4	平均值	4.3675	4.3667
		度数	461	466
		標準偏差	0.66663	0.69746
	5	平均值	4.6190	4.6389
		度数	9	9
		標準偏差	0.40564	0.48992
合計	平均值	4.1350	4.1142	
	度数	5424	5467	
	標準偏差	0.78481	0.80044	

授業形態

授業形態		授業運営	学修達成
講義	平均値	3.9457	3.8742
	度数	7880	7946
	標準偏差	0.82163	0.85749
演習	平均値	4.0959	4.0441
	度数	7182	7240
	標準偏差	0.78658	0.79510
実技	平均値	4.6477	4.5055
	度数	339	339
	標準偏差	0.44637	0.57485
実験・実習	平均値	4.2745	4.2906
	度数	243	243
	標準偏差	0.62561	0.63916
合計	平均値	4.0349	3.9722
	度数	15644	15768
	標準偏差	0.80570	0.83007

授業規模

授業規模		授業運営	学修達成
～19人	平均値	4.2477	4.2059
	度数	1394	1410
	標準偏差	0.74852	0.76309
20～39人	平均値	4.1466	4.0734
	度数	4896	4929
	標準偏差	0.76267	0.77727
40～79人	平均値	3.9921	3.9606
	度数	4184	4218
	標準偏差	0.83765	0.86537
80人～	平均値	3.9065	3.8226
	度数	5170	5211
	標準偏差	0.80803	0.83853
合計	平均値	4.0349	3.9722
	度数	15644	15768
	標準偏差	0.80570	0.83007

学年

学年		授業運営	学修達成
1	平均値	4.0585	3.9520
	度数	6230	6289
	標準偏差	0.80429	0.82766
2	平均値	3.9486	3.9210
	度数	5134	5163
	標準偏差	0.82936	0.84749
3	平均値	4.0911	4.0555
	度数	2909	2933
	標準偏差	0.76504	0.79798
4	平均値	4.1384	4.0809
	度数	1276	1287
	標準偏差	0.76912	0.81419
5	平均値	4.4799	4.3902
	度数	32	33
	標準偏差	0.49495	0.67587
合計	平均値	4.0358	3.9726
	度数	15581	15705
	標準偏差	0.80495	0.82954

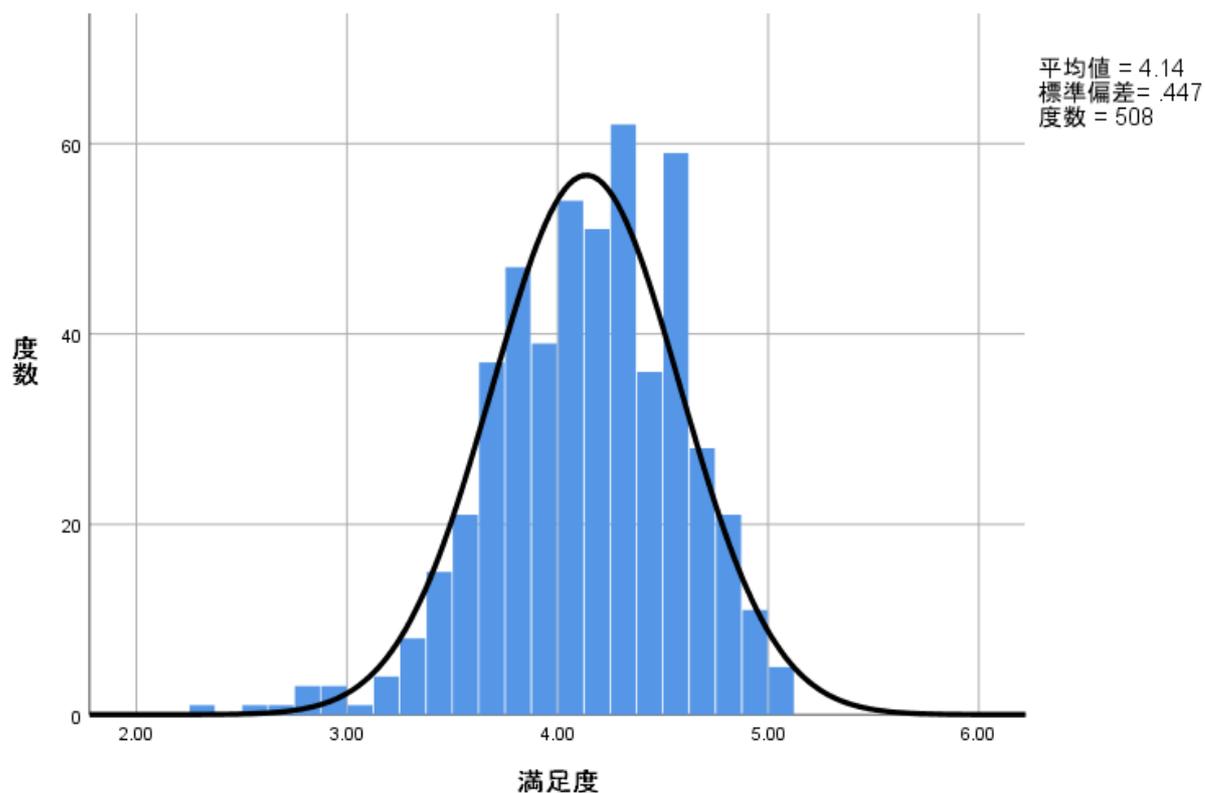
性別

性別		授業運営	学修達成
男性	平均値	4.0147	3.9640
	度数	5120	5186
	標準偏差	0.83532	0.86755
女性	平均値	4.0578	3.9883
	度数	9852	9899
	標準偏差	0.77981	0.80263
その他	平均値	3.7300	3.7459
	度数	331	337
	標準偏差	0.92174	0.91426
合計	平均値	4.0363	3.9748
	度数	15303	15422
	標準偏差	0.80356	0.82829

教員区分

教員区分		授業運営	学修達成
専任	平均値	4.0292	3.9742
	度数	10584	10662
	標準偏差	0.81337	0.83869
非常勤	平均値	4.0469	3.9681
	度数	5060	5106
	標準偏差	0.78936	0.81183
合計	平均値	4.0349	3.9722
	度数	15644	15768
	標準偏差	0.80570	0.83007

◆全体満足度の分布(授業平均)



授業運営尺度と学修達成尺度はよく似た傾向にある。

ともに学部による違いは小さい。授業形態では、講義、演習、実技の順で高くなっている。授業規模では、教員との距離が近い少人数授業で高く、大人数になるほど低くなっている。学年では学年が上がるほど高くなっている。性別および専任と非常勤による違いはほぼみられない。満足度の分布からは、4点台にいくつかの山があるが、全体的には高い水準であることがわかる。

◆相関分析

	I-1	I-2	I-3	I-4	I-5	I-6	授業運営	学修達成
I-1 出席	1	0.230	0.057	0.041	0.033	-0.005	0.054	0.077
I-2 熱心		1	0.238	0.162	-0.006	0.173	0.418	0.432
I-3 学習時間（個 別）			1	0.537	0.096	0.242	0.170	0.207
I-4 学習時間（全 体）				1	0.067	0.203	0.112	0.133
I-5 難易度					1	0.011	-0.156	-0.167
I-6 シラバス活用						1	0.191	0.210
授業運営							1	0.849
学修達成								1

授業運営尺度と学修達成尺度の相関は強い（ $r=.85$ ）。授業への熱心さと授業運営、授業達成は中程度の相関がある（ $r=.4$ 前後）。個別の学習時間と全体の学習時間にも中程度の相関がある（ $r=.54$ ）。

調査票